

街の活性化につながる公共交通

- 神戸にLRTが走る日は来るか？

平成18年1月14日

全国路面電車ネットワーク
制度・財源プロジェクト
副委員長 本田 豊

あなたにとって理想のまちは？

- 原点：LRTが走る都市での今でも心に残る光景

- 市内の中心部は歩行者天国になっていて，LRTがその一角を走っていた。何よりも驚いたのは，平日にもかかわらず，楽しそうにまちを歩いている人，カフェテラスでお茶を飲んでいる人の多いこと。そして，その3分の1ほどは，お年寄りだった。
- 自動車が姿を消したメインストリート周辺は，今では歩行者天国となって，人々はカフェでおしゃべりを楽しんだり，新聞を読んだり。「カラン，カラン」というのどかな“警笛”が街角に響き，LRTの接近に気づいた市民らがゆっくりと道を譲る。
- 中心部を自動車中心から歩行者中心に取り戻した都市では，時の流れや人々の生活の質が違って見えた。
- 神戸のまちはどうですか...？

あこがれのまちK O B E 神戸

- 神戸が「元気が出るまちづくり」に向けての提案

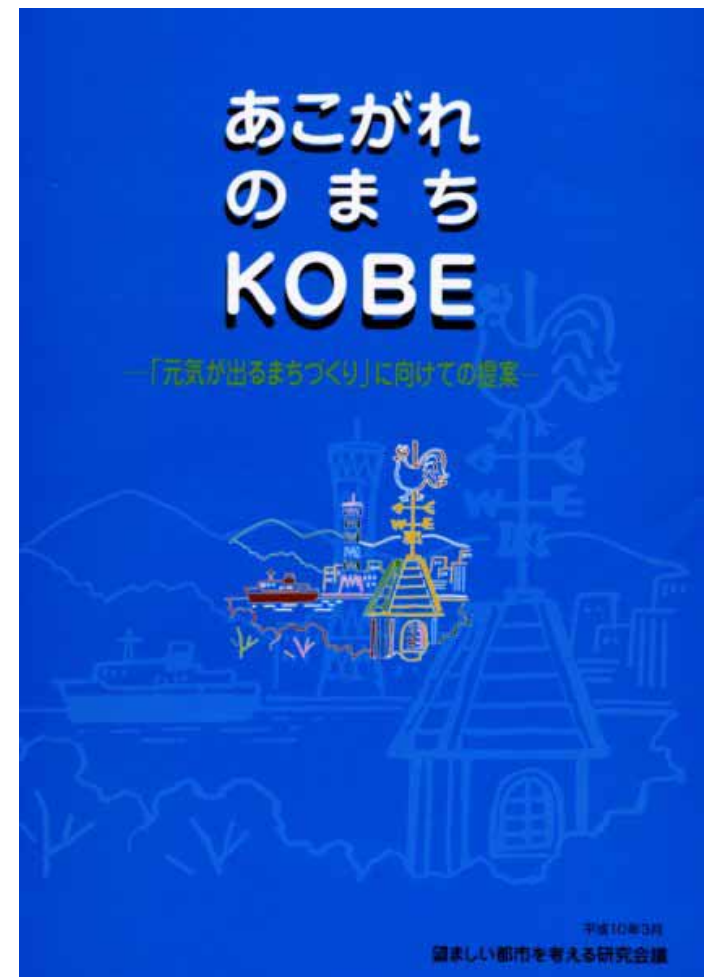
発行：平成10年3月

提言団体：望ましい都市を考える研究会議

新井組，大阪ガス，大林組，鹿島建設，川崎重工業，川崎製鉄，関西電力，神戸製鋼所，さくら銀行，清水建設，大成建設，竹中工務店，東洋建設，NTT西日本，21世紀ひようご創造協会

元気のない神戸を何とかしたい！

Copyright © 2006 by Yutaka Honda



路面電車で都市再生

兵庫県内のシンクタンク研究員らが提言

震災4年半

ポランティアは今

⑤

JR新神戸駅と神戸駅を路面電車で結ぼう―阪神大震災をきっかけに、路面電車などの新たな交通機関整備を含めたまちづくりを提言する研究グループがある。なせいま、「路面電車復活」なのだろうか？

提言しているのは、兵庫県などが出資するシンクタンクの(財)21世紀ひょうご創造協会と、兵庫県内の有力企業15社の研究員38人が集まって1992年10月に結成したグループ「望ましい都市を考える研究会」だ。

「提言は、効率追求と一極集中という、現代の都市構造への反省から生まれた」と、メンバーの福田丞志・21世紀ひょうご創造協会総括理事は語る。「震災時、阪神間に集中する交通インフラが壊滅したことで

日本中が影響を受け、多様なバイパスの必要性が身にしみた。また、大量・高速輸送より、環境に優しく安心して利用できるものを、という視点から、自動車から鉄の軌道へシフトするべきではないかということなのです」

この提言は会議が昨年3月にまとめた、まちづくり

を、北野異人館、元町、ハーバーランドを経由して低床型路面電車(LRT)の「南北新交通」で結ぶ。山手の新神戸駅と海に近い神戸駅。両駅を結んで南北方向の交通が便利になるだけでなく、海から山へ移り変わる神戸の景観の特色をアピールすることができる。都市の魅力アップにも一役買うことができるというわけだ。

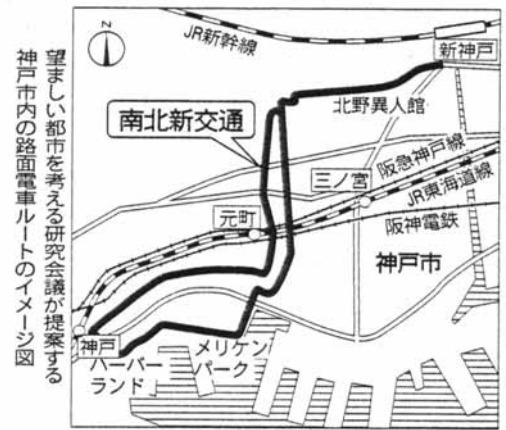
………

への提言リポート「あこがれのまちKOBEBEの一部。会議は96年3月にリポート「兵庫県南部広域都市圏

人にも環境にもやさしく

望ましい都市を考える研究会が提案する神戸市内の路面電車ルートイメージ図

望ましい都市を考える研究会が提案する神戸市内の路面電車ルートイメージ図



の形成」を発表しており、この中では、宝塚新都市、北神・三田、東播磨、西神、北淡の5地域をLRTで結ぶことが提言されている。

いずれのリポートも、38人がそれぞれ本業に追われながらの苦心の作。「シンクタンク機能を結果として復興のためにできることをしよう」と、熱意を傾けた。実際には、LRTという結論を引き出す前に、アンケート調査を通して神戸の都市の視点を立ったまちづくりイメージを分析する作業の方が大変でした」と、作

成当時のメンバーだった兵庫県職員の本田豊さんは振り返る。

関西では大阪市や枚方市、京都市に導入を求めている市民団体が生まれており、LRTはちょっとしたアイムだ。神戸にも追い風は吹くか。福田総括理事は「都市が働き盛りの年代層中心だった時代は過ぎた。高齢者の視点を立ったまちづくりは世界的な流れではないか」と期待を語った。

あこがれのまちKOBEBE

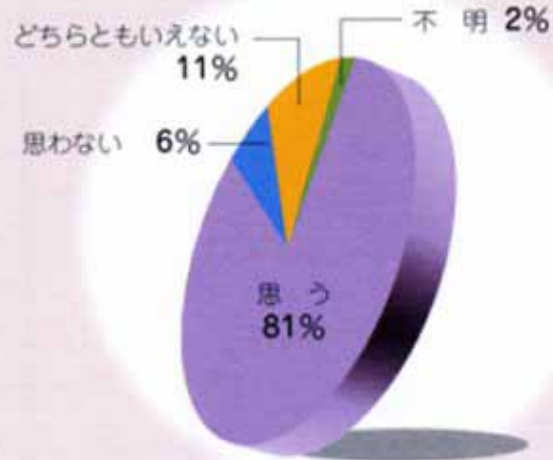
- 提言は、効率追求と一極集中という、現代の都市構造への反省から生まれた。
- 都市が働き盛りの年代層中心だった時代は過ぎた。高齢者の視点到立ったまちづくりは世界的な流れではないか。

神戸の都市イメージ



7大都市圏(札幌・仙台・首都圏・名古屋・京都・大阪・神戸・広島・福岡・北九州)に勤務する方とその家族を対象としたアンケート調査結果

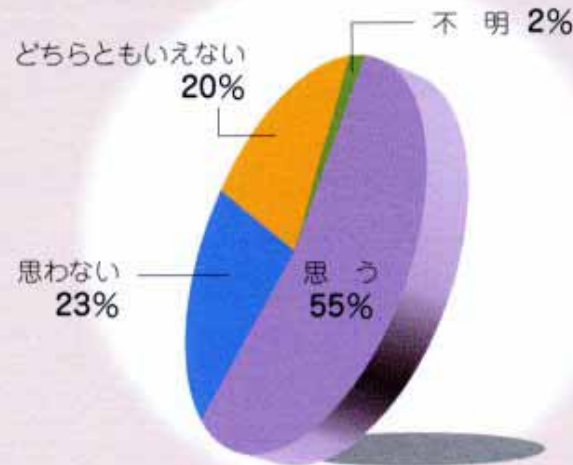
■神戸に行ってみたいと思いますか？



● 思う (%)	
①異国情緒がある	61.8
②都市のイメージが良い	49.6
③ショッピングをしてみたい	46.6

● 思わない (%)	
①都市のイメージが悪い	30.2
②震災の影響を受けている	27.9
③自然が少ない	19.8

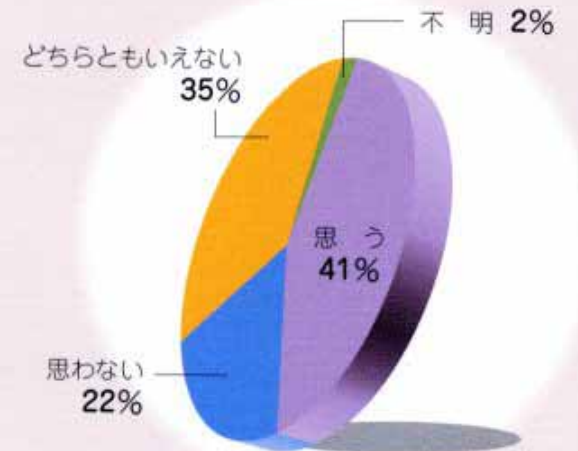
■神戸に住んでみたいと思いますか？



● 思う (%)	
①都市のイメージが良い	53.4
②生活するのに便利である	52.6
③自然環境に恵まれている	39.8
④街並みがきれい	39.2

● 思わない (%)	
①治安が悪い	39.3
②震災の影響を受けている	36.4
③街並みがゴミゴミしている	19.8

■神戸で働いてみたいと思いますか？



● 思う (%)	
①周辺の環境が快適である	50.6
②職住近接である	48.5
③国際性がある	34.5
④都市のイメージが良い	32.7

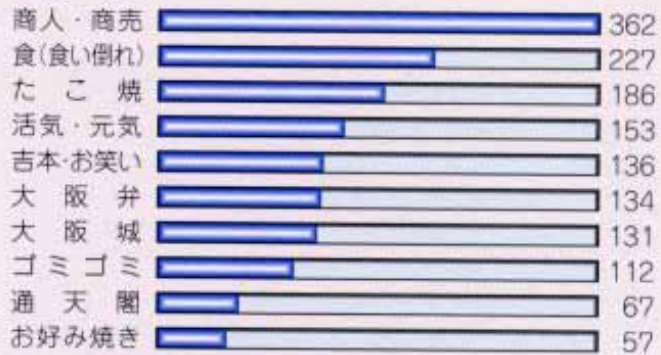
● 思わない (%)	
①職業の選択の幅が限られている	34.8
②ビジネスチャンスが少ない	27.7
②震災の影響を受けている	27.7

■神戸・大阪・京都の都市イメージから連想されることば

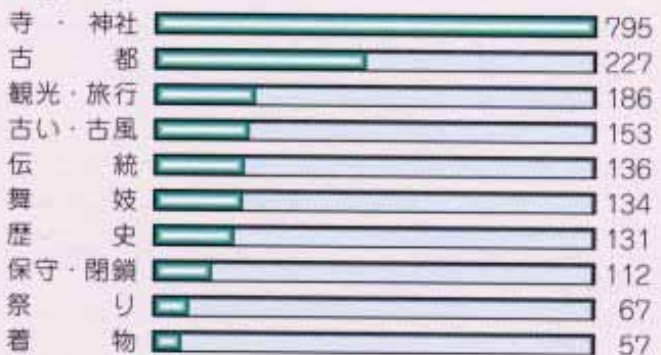
●神戸



●大阪



●京都



■関西圏外で認知度の低いもの

●観光イベント



▼神戸ルミナリエ



●神戸ブランド

▼神戸ワイン



▼真珠加工



●プロジェクト

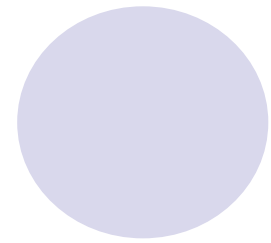
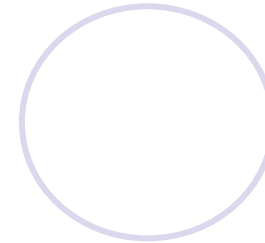
▼神戸空港



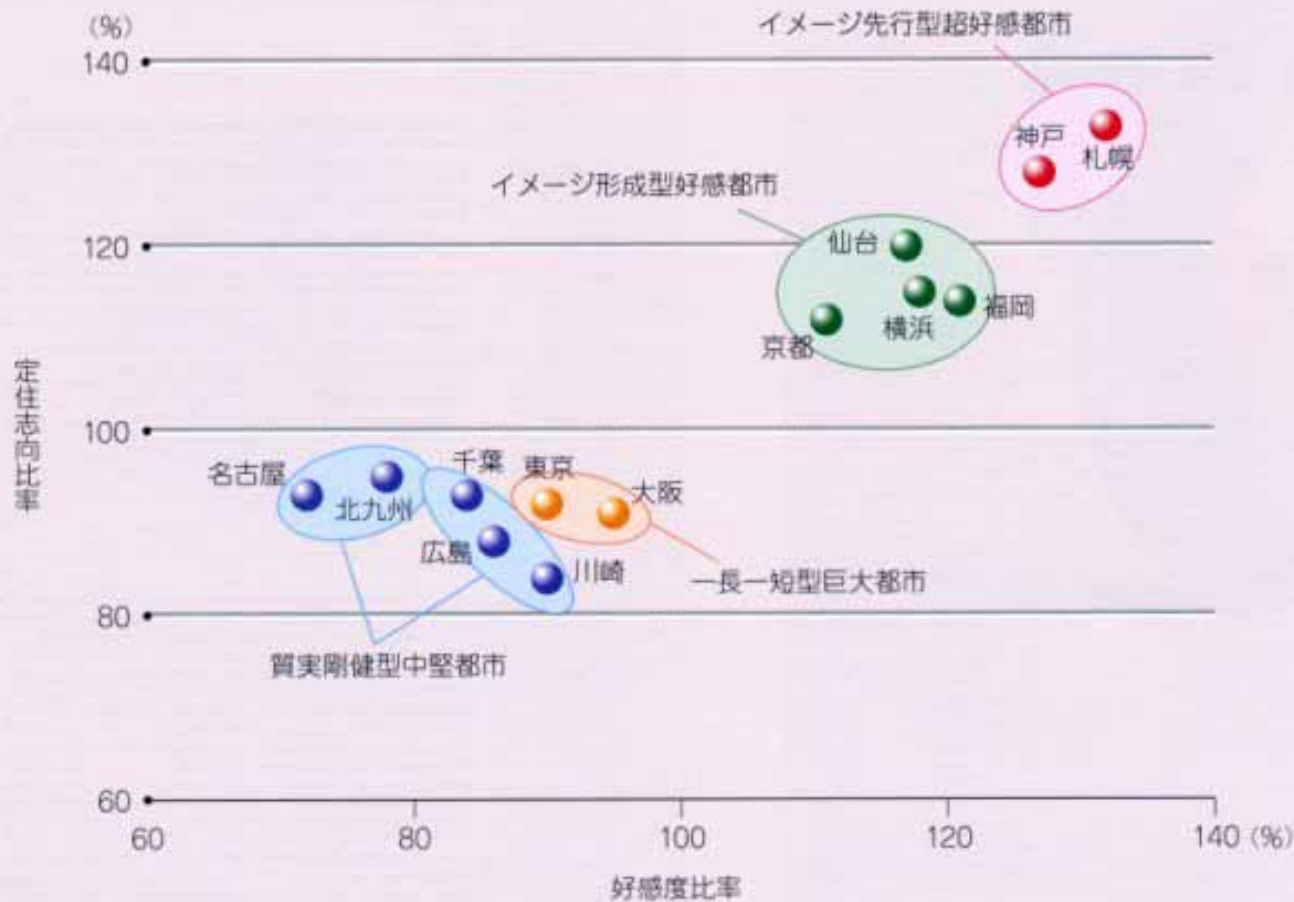
▼播磨科学公園都市



神戸の都市イメージ

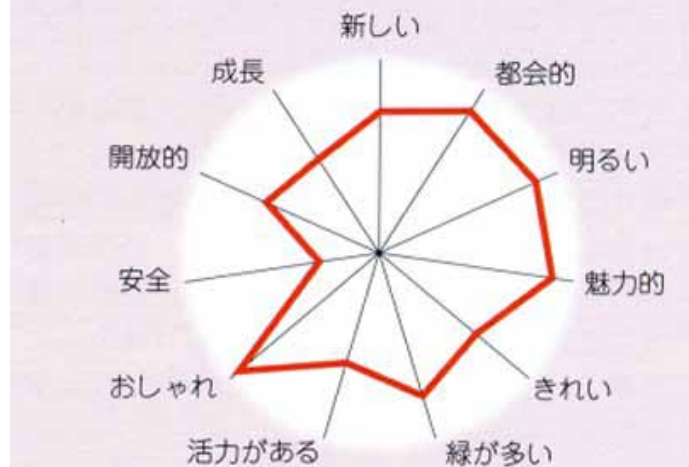


■定住志向と好感度からみた都市圏のタイプ



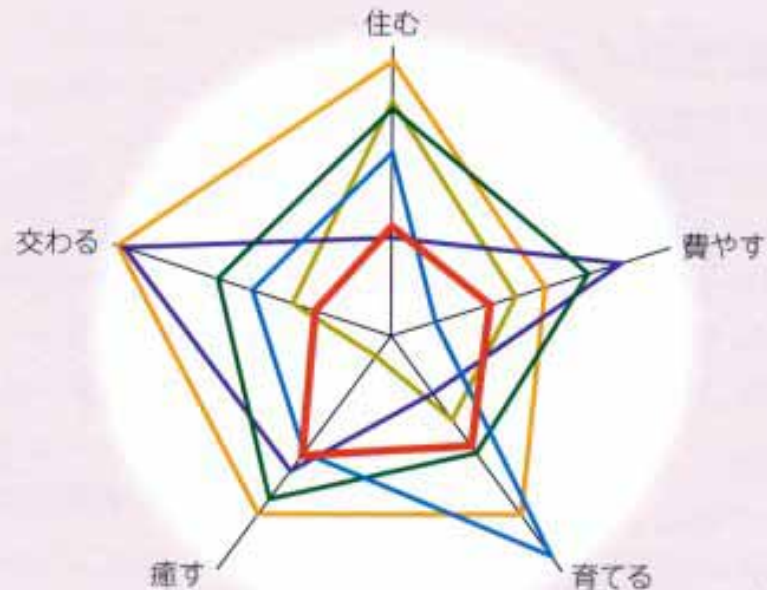
資料:「魅力ある名古屋圏の構築に向けて」(平成9年2月)/名古屋商工会議所

■神戸在住者からみた神戸の居住都市イメージ



社会指標から見た神戸の位置づけ

■豊かさ指標(豊かさ指標/PLI)



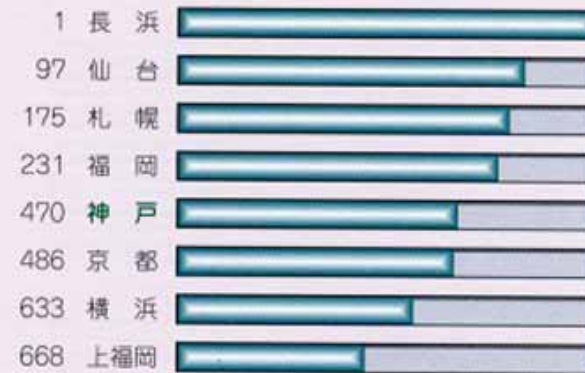
— 札幌市 — 仙台市 — 横浜市
— 京都市 — 神戸市 — 福岡市

住む…住居、住環境、近隣社会の治安等の状況
 費やす…収入、支出、資産、消費生活等
 育てる…(子供のための)育児・教育支出、
 教育施設、進学率等
 癒す…医療、保健、福祉サービス等
 交わる…婚姻、地域交流、社会的活動等

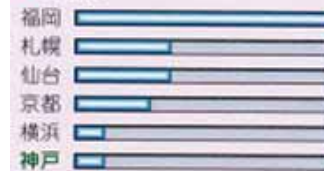
資料:「新国民生活指標」(平成9年5月)/経済企画庁

■住みよさランキング(全国669都市)

●総合順位



▼安心度



▼利便度



▼快適度



▼富裕度



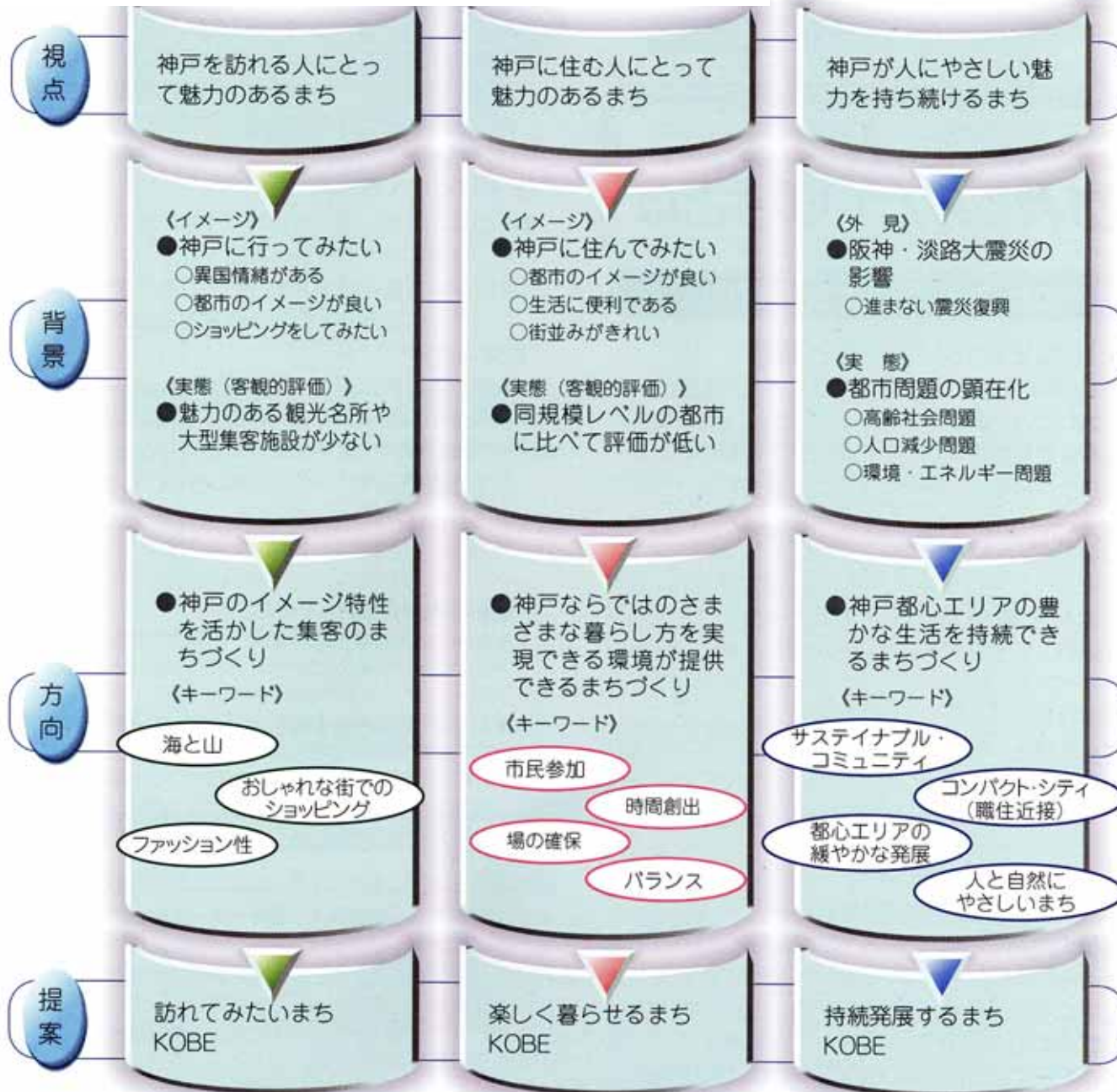
安心度…病床数、出生率、85歳以上人口比率、死亡率
 利便度…小売販売額、金融機関数、通勤時間
 快適度…下水道普及率、都市公園面積、住宅延床面積、
 住宅地地価、3年間の転出・転入人口差
 富裕度…財政力指数、課税対象所得額、持ち家比率

元気が出るまちづくりの視点

関西における京都・大阪という大きな2つの集客都市とは違った方向で「人が集まるまち」を目指す必要がある。

価値観やライフスタイルが変化するなかで、様々な暮らし方を実現できる環境を整えていく必要がある。

職住近接で心の豊かさを実現できる「コンパクト・シティ」の概念によるまちづくりが必要である。



訪れてみたいまちK O B E っ

神戸の持つ都市イメージからくる集客特性(自然系集客, ファッション性, ショッピング等)をより活かすイメージ

神戸の持つ都市イメージ特性を活かしたまち

海と山が近い魅力を最大限活かす

周遊型・広域滞在型観光のできるまち

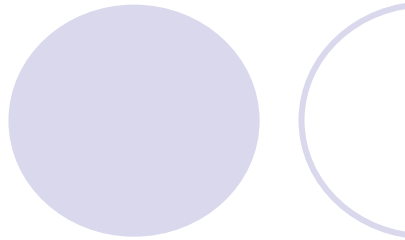
集客拠点のネットワーク化 = 南北方向の交通網

「ハイカラ文化の伝統」を受け継ぐ文化・産業資源の活用

行ってみたくなるイベントが展開されるまち

都心における集客拠点の整備

もてなしの心あふれるまち



旧居留地との連携

- 三宮地区とウォーターフロントの回遊動線の整備
- 歩行者空間の整備、ファッション関連イベント開催等

ウォーターフロントプロムナード

- 都心ウォーターフロントを東西に結ぶプロムナード
- 歩行者と専用のバスのみが通行するトランジットモール

レジデンスゾーン

- ウォーターフロント住宅
- レジデンシャルオフィス (コンサルタント、デザイナー等の小規模オフィス)

スポーツガーデン

- 公園
- テニスコート
- バーベキューガーデン 等

スポーツコンプレックスゾーン

- マリーナ
- マリンスポーツスクール (ヨット、ウィンドサーフィン等)
- マリショップ
- レジャープール
- 大型映像によるスポーツ中継基地 等

客船ターミナルゾーン

- ソーワールド
- ホテル



訪れてみたいまちKOBEOのゾーニングイメージ

楽しく暮らせるまちK O B E ㊦

神戸の都市イメージを身近なくらしの中に取り入れ，市民参加，
時間創出，場の確保，バランスを実現するイメージ

さまざまな世代・分野の人々が参加するまち

積極的な市民参加，市民活動の充実

時間にゆとりができる便利なまち

環境に配慮した交通システムの整備 = 南北方向の交通網

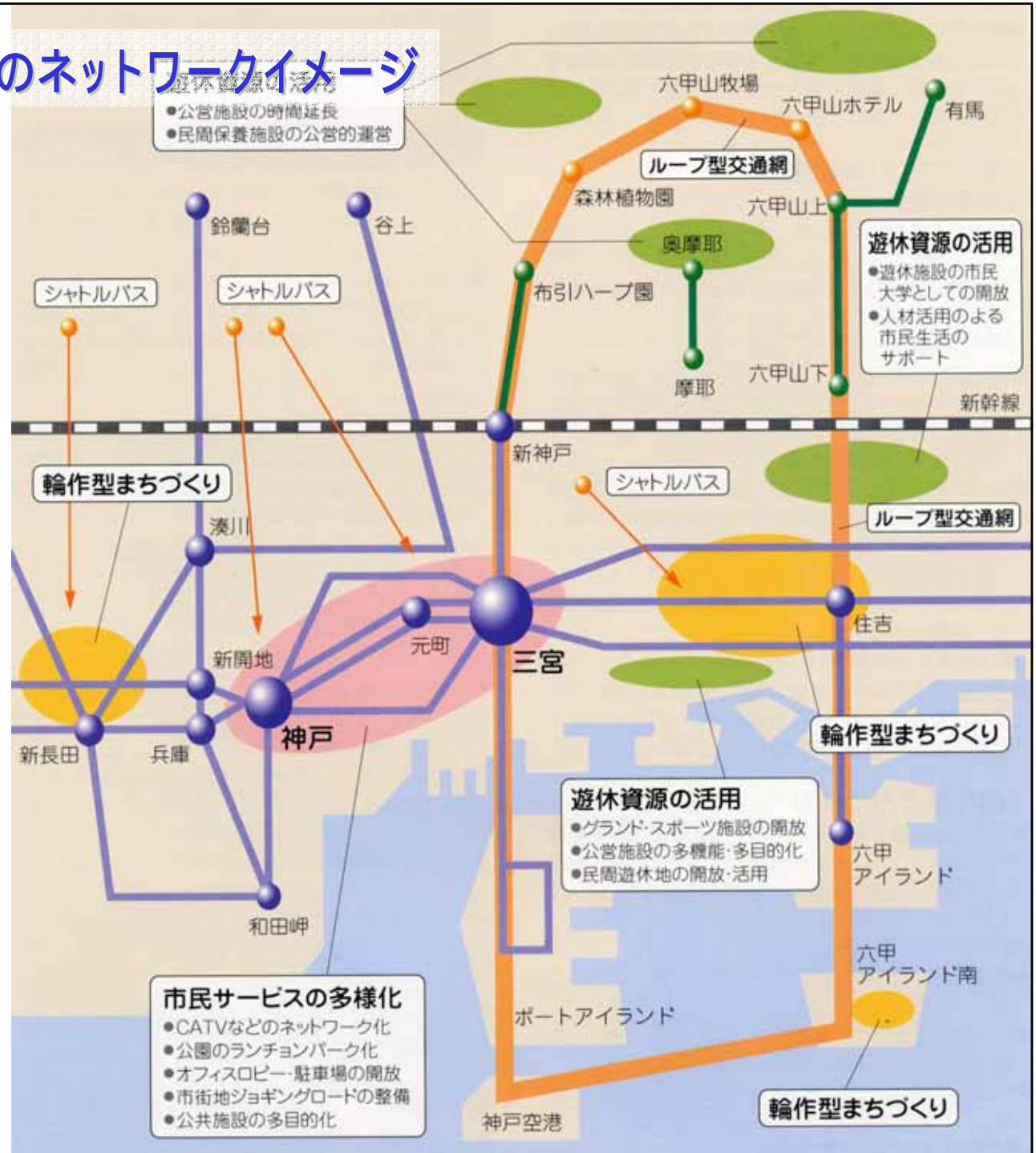
行政システムやサービス施設の柔軟な運用

さまざまな市民の活動をサポートするまち

都市機能の充実，生活インフラの充実

バランスのとれたまち

楽しく暮らせるまちKOBЕのネットワークイメージ



持続発展するまちK O B E 万

提案が目指す方向

都心への回帰

集中型の都市構造

徒歩生活圏の形成

都市イメージの実態化

多世代がミックスした持続発展するまち
コンパクトながら個性あるまち
多様性を受け入れる懐の深いまち

人にやさしく安心して暮らせるまち
海と山の美しい自然が感じられるまち
異国文化の香りが漂うまち

「持続発展するまちKOBE」への提案

提案(1)
都心居住の促進

提案(2)
グリーン・モード中心のまちづくり

新しい発見を見いだすまち
美しい街並みが映えるまち

環境負荷の小さな交通手段で移動できるまち

持続発展するまちKOBЕのイメージ



C

持続発展するまちK O B E 万

神戸の都心が人にやさしく魅力的であり、エネルギー消費が少なく効率的で、持続発展していくまちのイメージ

段階 : 交通規制 (短期)

中心部は歩行者中心のまちづくり = 週末の交通規制

段階 : ゾーンシステムの導入 (中期)

中心部への車両の乗り入れ規制

大規模駐車場の整備 + 中心部へのシャトルバス導入

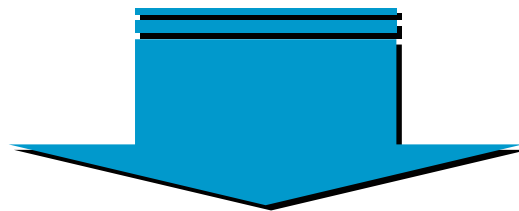
段階 : 南北LRTの整備 (長期)

都心を訪れる人、都心住民の利便性を向上し、海から山へ移り変わる神戸の景観の特色をアピールすることができ、都市の魅力アップにも一役買うことができる。

明確な都市再生ビジョンに基づく 欧州におけるLRTの導入

ヨーロッパの都市再生の合言葉

「持続可能なまちづくり」
最上位の政策目標は市民生活の質の向上



【ストラスブール】

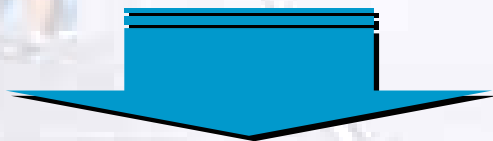
LRTの導入に併せて都心部の自動車規制を行うこと
により、老若男女が安全で安心して歩きたくなるまち
づくりを行い、都市再生に大成功！

ストラスブールの都市ビジョン

中心部における自動車の通行及び駐車を抑制すること

中心部では公共交通と自転車を優先し、自動車の代替手段とすること

公共空間を再構築し、歩行者に最もやさしいまちづくりをすること



3つの目標の実現に必要と位置づけられたのが

「LRTの導入」

経済成長優先ではない都市再生

都市再生には(尺度の異なる)2つの手法がある

ヨーロッパ型...人間の「生活の質」の持続可能性を目指す都市再生

米国・日本型...経済成長優先の持続可能性を目指す都市再生

ヨーロッパ型の都市再生

「市場メカニズムに依存していたのでは、都市の持続可能な成長は実現できない」
(『ヨーロッパ・サステイナブル都市最終報告書』：1996年)

自動車中心ではなく、人中心の都市空間を整備するという考え方に転換して、将来にわたり持続可能な都市へ再生していこうとする動き

【例】ストラスブールのLRT



何のためにLRTを導入するのか

どうして「LRTなのか」

- ◆ LRTを導入したら、どんな問題が解決されるのか、まちがどのように変化するのか、ライフスタイルがどう変化するのか

LRT導入に対するはっきりとした「都市ビジョン」が必要

- ◆ LRTを導入することで都市がどのように活性化するのか

LRTはあくまでも「まちづくり・都市再生のツール」

- ◆ LRTは手段であって目的ではない
- ◆ 都市を再生するためには、LRTを中心とした交通まちづくりを行うことが重要であることを十分に説明できるか